

MAWALEE — COMMUNITY-BASED CARE 小規模多機能ホーム マワリー / 株式会社ケアハート

MINUTES OF MEETING

第 3 回 運営推進会議 議事録

開催日時	令和 8 年 10 月 19 日（月）14:00 — 15:00 （所要時間 約 60 分）	開催場所	小規模多機能ホーム マワリー 地域交流室
進 行	原田 理恵子（管理者）	記 録	原田 理恵子（管理者）
出席者（構成員）	- ご利用者代表 - ご家族代表 - 民生委員 - 三原市役所 高齢者福祉課（担当代理） - 三原市東部地域包括支援センター どりいむ ※ 個人情報保護の観点から、所属・役職のみの表記としております		
	- 原田 理恵子（管理者） - 株式会社ケアハート 法人職員		

1 議 題

①	開会・出席者の自己紹介	⑤	今後のイベント予定・SNS 広報の状況
②	運営状況・利用実績報告（8 月・9 月）	⑥	前回課題の対応状況・加算の変更
③	ヒヤリハット・インシデント報告	⑦	意見交換
④	地域交流・活動実績	⑧	閉会・次回開催について

2 議事の概要

▶ （1）開会・会議の趣旨

開設から半年が経過した事業所の 8 月・9 月の運営状況・実績、課題と改善策、加算の変更、第 2 回会議でいただいたご意見への進捗を報告。出席者の自己紹介を行ったうえで議事に入った。

▶ （2）運営状況・利用実績報告（8 月・9 月）

- ご契約者数 **21 名**（定員 29 名・前回比 −1 名）／ 平均介護度 **2.4**・平均年齢 **88.6 歳**
- 9 月実績：通い延べ **407 名**（+3.8%）・泊り延べ **211 名**（+24.9%）・訪問 **77 件**（−58.8%）
- 訪問減・泊り増の要因：老老介護世帯等で同居家族の入院・体調悪化があり、在宅生活の継続が難しくなった方を連泊利用へ調整
- 複合サービス利用 **17 名 / 21 名**、要介護 2 以上 **17 名（81%）**、中央・東部地区で **90.4%**

▶ （3）ヒヤリハット・インシデント報告／安全対策

- 8 月 ヒヤリハット **5 件**、9 月 ヒヤリハット **2 件**・インシデント **1 件**。転倒・転落が 3 件（42.9%）。縫合を要する大きな怪我はなし（擦り傷程度）
- 朝礼での即時共有と週次の安全対策会議により、環境整備・見守り方法の見直し・再発防止を継続

▶ （4）地域交流・活動実績

- イベント **3 回**・延べ **90 名** 参加。三原小学校 5 年生の総合学習を受け入れ（車椅子・入浴設備の体験、ちぎり絵の共同制作）
- 東部連合地区の地域福祉懇談会に参加。三原美術協会の絵画展示（10 月末に掛け替え）、月 2 回のクリーン活動を継続
- 調理レク（おはぎ・ちらし寿司等）、敬老会、シャボン玉を使った呼吸リハビリ等を、ご利用者と共に実施

9 月実績：通い延べ **407 名**・泊り延べ **211 名**・訪問 77 件。契約者 21 名、平均介護度 2.4・平均年齢 88.6 歳。

項 目	9 月実績	増 減	備 考
通い 延べ利用者数	407 名	+ 3.8%（8 月比）	増加傾向
泊り 延べ利用者数	211 名	+ 24.9%（8 月比）	ご家族の入院・体調悪化に伴い連泊利用へ調整
訪問 件数	77 件	－ 58.8%（8 月比）	8 月 187 件。泊りへのサービス調整による減少
ご契約者数	21 名（定員 29 名）	－ 1 名（前回比）	複合サービス利用 17 名（通いのみ 3 名・通い＋泊り 10 名 ほか）
平均介護度 / 介護度別	2.4	前回 2.5	要介護 2 が 42.9% で最多。要介護 2 以上 17 名（81%）
住所地 / 年齢構成	中央 57.1%・東部 33.3%	平均 88.6 歳	85～94 歳 13 名（61.9%）・75～84 歳 4 名・95 歳以上 4 名
ヒヤリハット / インシデント	8 月 5 件 / 0 件 9 月 2 件 / 1 件	転倒・転落 3 件	大きな怪我はなく擦り傷程度。週次で対策会議を実施
医療ニーズ	透析 2 名・認知症対応 17 名・服薬管理 17 名		専任看護職員 1 名体制・提携医療機関と連携

▶ （5）今後のイベント予定・SNS 広報

- ・ 11 月 6 日 フレイル予防講座（法人の理学療法士・看護師）
- ・ こどもNISA講座・行政書士出張セミナー（相続・後見等）・整理収納講座を計画
- ・ 10 月末 スポーツ大会を開催予定
- ・ 公式 LINE 60 名（配信 2 回）、Instagram ストーリーで日々の活動を発信

▶ （6）前回課題の対応状況・加算の変更

- ・ 前回課題は継続対応中（町内会等との連携会議へ積極参加）
- ・ 8 月～ サービス提供体制強化加算を新規算定
- ・ 9 月 1 日～ 口腔・栄養スクリーニング加算を新規算定
- ・ 10 月 1 日～ 看護職員配置加算「2」→「1」（正看護師の常勤配置）

3 意見交換・質疑応答（主なやりとり）

区 分		内 容
Q1	質問 (民生委員)	Q ヒヤリハット・インシデントで大きな怪我をされた方はいなかったか A 縫合を要する大きな怪我はなく擦り傷程度。寝たきりにつながらないよう引き続き注視する。
Q2	ご意見 (民生委員)	Q 小学校の音楽発表会など、行事に呼ばれないケースもある A ご紹介いただきながら、学校との交流の機会をさらに広げていきたい。
Q3	質問 (地域包括支援センター)	Q 利用時間や食事の提供はどのようにしているか A 概ね 17 時頃まで対応。ご家族のお迎えがあれば遅い時間も可能で、夕食後に帰宅される方もいる。
Q4	情報提供 (地域包括支援センター)	Q 「どりいむのお便り」で新しい認知症観と減塩の工夫を紹介。11 月 10 日 駅前図書館サテラスでフレイル予防イベントを開催 A 資料を配布し、ご利用者・ご家族・関係者へ周知する。
Q5	要望 (ご家族代表)	Q 送迎の到着時刻が読めず待機の負担が大きい。出発時に「3／5／10 分後に到着」の LINE 定型文通知や GPS 連動を活用してほしい A 具体的で貴重なご意見に感謝。運営見直しの材料として、送迎連絡の改善を検討する。
Q6	ご意見 (市役所 高齢者福祉課)	Q 学校・保育所との連携拡大を評価。冬季の体調不良の増加を見据えた運営の見直しを A 皆様のお声を踏まえ、運営の見直しを図る。

4 決定事項・次の段取り（アクションアイテム）

No.	項 目	内 容	担当 / 期日
01	送迎連絡の運用改善	到着予告（3／5／10 分）の LINE 定型文送信ルールと手順を作成。GPS 連動通知の可否も検討	事業所 / 11 月中旬
02	冬季の体調変化への対応	連絡体制・食事や水分・受診の流れを整理し、ご家族へ周知	事業所 / 11 月末
03	フレイル予防講座の開催	法人の理学療法士・看護師による講座を地域の方と交流しながら実施	法人専門職 / 11 月 6 日
04	安全対策体制の継続	週次の安全対策会議・朝礼での情報共有、見守り方法と環境整備の見直し	事業所 / 継続対応
05	地域・町内会・学校との連携推進	見守り会議への参加、学校交流の機会拡大、金曜の百歳体操との日程調整	事業所 / 継続対応